

9月22日に、王滝村と森林の里親契約をしている、愛知製鋼(株)の技術学園の皆さんによる、森林学習及び御嶽山ビジターセンターの見学が行われました。

森林（もり）の里親の森づくりボランティア活動 「“愛知製鋼技術学園”の皆さんが森林・御嶽山について学習」

王滝村と愛知製鋼株式会社さんは2019年4月に「森林（もり）の里親」契約を締結しており、本年は6月にも愛知製鋼グループの皆様に参加をいただき森林整備を行ったところです。

今回は、新入社員の企業内訓練生である愛知製鋼技術学園の皆さんに、森林ボランティア活動として森林整備作業を行っていただく予定でしたが、あいにくの雨天のため内容を変更して、森林や御嶽山についての自然学習を行いました。

午前の部は室内で長野県の森林・林業を取り巻く状況について学んでいただき、参加された皆さんから森林・林業について多数の質問をいただくなど、訓練生の皆さんから森林づくりへの関心の高さが伝わってきました。

午後の部は、長野県立御嶽山ビジターセンター「やまテラス王滝」を見学していただき、御嶽山の成り立ち、噴火災害の記録や御嶽山をめぐる文化・自然環境及び噴火災害の恐ろしさ等について理解を深めていただきました。

ビジターセンターへの道中、森林の里親のアダプトサインをバックに記念撮影をし、これまで継続して行われてきたボランティア活動への思いを高めていただきました。

次回は晴天の下、愛知製鋼グループの皆様と一緒に、森林づくり活動ができることを楽しみにしております。



森林学習の様子



アダプトサインの前で記念撮影する愛知製鋼(株)技術学園生の皆さん



ビジターセンターにて御嶽山の自然及び噴火災害について学習